

2005 年度 ANA グループ航空輸送事業計画を策定

~国際線では、広州への新規路線など中国路線を増強、小型機材の多頻度化を展開~
~国内線では、地上輸送機関を含めた「総合輸送戦略」を構築~

ANAグループでは、2005年度(2005年4月1日~2006年3月31日)の航空輸送事業計画を策定、「アジアでナンバーワン」の経営ビジョン達成に向けた「安定経営」から「価値創造経営」への着実な進化を目指して参ります。

国際線では、中国路線を中心としたネットワークの拡充と新機種導入、小型機材の多頻度運航などを行い、収益力の拡大を図ってまいります。

国内線では、「JET & PROP 戦略」など需給適合・多頻度化を進める一方でスーパーシート・プレミアムなど、お客様に高品質なサービスを提供し「ANAらしさ」をアピールして参ります。

貨物事業においても、中型貨物専用機の増機による積極的な展開を図ります。

2005年度ANAグループ航空輸送事業計画の詳細は次の通りです。

1. 国際線事業の概要...中国路線ネットワークの増強と小型機材による多頻度運航

- (1) **中国路線の新規開設で増強**...成田 = 広州線、中部 = 広州線などを新規開設、週あたり計140便と中国路線のネットワーク規模を約1.3倍の便数(現在週112便)に増強します。
- (2) **中部国際空港を中心に効率化を推進**...内際ボーダレスでの機材・リソースの共有化を推進、B737-700型機などによる日本~中国路線を簡単・便利にご利用いただけるよう推進します。

2. 国内線事業の概要...「総合輸送戦略」を構築、航空利便性をさらに推進

- (1) **中部国際空港をモデルに総合輸送戦略の構築**...地上交通機関との接続ダイヤ設定の工夫により、総旅行時間の短縮による利便向上を目指してまいります。
- (2) **大阪・中部における「JET & PROP 戦略」の構築と定着**...需給適合と多頻度による競争力向上を図るため、「JET & PROP 戦略」を展開します。

3. 国際線および国内線の生産量

事業規模前年比	国際線(ANK便含む)	国内線
運航回数	111%	105%
座席叩	100%	100%

* 各項目の詳細は、次項をご参照ください。

* これらの計画は関係当局の認可を前提としております。

1. 国際線事業

(1) 中国・アジア路線の増便

中部 = 上海線の開設に引き続き、広州線の新規開設(成田 = 広州線、中部 = 広州線)など旅客需要、貨物需要の旺盛な中国路線を更に増強し、コードシェアを含めると、週あたり最大、計 189 便となります。

昨年ウインターダイヤより運航している成田 = バンコク線の週 14 便を継続します。

羽田 = 金浦線については、需要動向に応じて、現行 B767 300ER 型機(最大 216 人乗り)の機材を B777 200 型機(最大 418 人乗り)へ大型化することを検討します。

路線	便数	運航開始日	運航機種
成田 = 広州*	週 3 ~ 7 便	2005 年 4 月 25 日	B767-300ER
中部 = 広州*	週 7 便	2005 年 12 月予定	B737-700
中部 = その他中国*	週 7 便	2006 年 2 月予定	B737-700
成田 = バンコク	週 14 便	2005 年 3 月 27 日	B767-300ER

*関係国間協議などの諸条件が整い次第、就航いたします。

(2) B777-300 型機のニューヨーク線投入を含めた「北米 B777 化計画」

機内ではインターネットもご利用可能な最新鋭の B777-300ER 型機を増機し、「New Style, CLUB ANA」をはじめとする「ANA らしい」サービスが北米線の空を快適にしてまいります。

路線	便数	運航開始日	運航機種変更後	(現行運航機種)
成田 = ニューヨーク	週 7 便	2005 年 5 月 12 日	B777-300ER	B747-400
成田 = ロサンゼルス	週 7 便	2005 年 10 月予定	B777-300ER	B777-200ER
成田 = サンフランシスコ	週 7 便	2006 年 3 月予定	B777-300ER	B777-200ER

(3) 貨物事業

中型貨物専用機の B767-300F(最大 50 トン積載)の機材を使用し、引き続き上海線、大連線、天津線など中国路線に、週間 12 便の運航を予定しております。

2. 国内線事業

ANA グループおよび提携航空会社に加えて、地上輸送機関を含めた「総合輸送戦略」を構築し、お客様の視点に立った輸送計画を推進してまいります。また、需給適合を推進する FAM の進化版である「ウイーケンド FAM」を本格運用し、平日・週末における路線便数計画、運航機材の使い分けを実施し、収益性の極大化をさらに進めてまいります。あわせて、福岡を中心に 6 月からエアーアネクストの運航を開始し、効率的な体制を構築します。

(1) 伊丹発着路線…需給適合と多頻度による競争力向上を図るため、「JET & PROP 戦略」の一環として 10 月以降、新潟線や松山線を計画しております。

路線	実施時期	内容	現行
伊丹 = 新潟	10 月 ~	増便予定	2 便/日 (JET2 便)
伊丹 = 松山	10 月 ~	増便予定	5 便/日 (JET3 便 + PROP2 便)

(2) 関西発着路線…札幌、沖縄をはじめとする長距離路線を増便します。

路線	実施時期	内容	増減便数	実施後便数
関西 = 札幌	4月～	増便	+1便 (4～6月は+2便)	3～4便/日
関西 = 沖縄	7月～	増便	+1便	3便/日
関西 = 鹿児島	4月～	増便	+1便	2便/日
関西 = 宮崎	4月～	増便	+1便	2便/日
関西 = 女満別*	4月～	通年化	+1便	1便/日

*04年度は季節運航(4-5月、11-1月)路線

(3) 貨物事業

好調な航空貨物需要に応えるべく中型貨物専用機(B767-300F)を活用、深夜貨物便として、羽田 = 佐賀線に投入する他、中部 = 佐賀線、羽田 = 関西線の開設を計画いたします。(2006年1月予定)

路線	便数	運航開始日	運航機種変更後	(現行運航機種)
羽田 = 佐賀*	7便/週	06年1月～	B767-300F	B767-300
中部 = 佐賀	7便/週	06年1月～	B767-300F	-
羽田 = 関西	4便程度/週	06年1月～	B767-300F	-

*羽田 - 佐賀線は、2004年7月7日より、旅客機の貨物ベースにより週14便運航していたが、06年1月より、貨物専用機にて就航予定。

3. 機材計画

ANAグループの機材に関する新規導入および退役計画は次の通りです。

	導入計画	退役計画
	機種(機数)	
ANA	B777-300ER(3機)	B747-SR/LR(4機)
	B777-200(2機)	-
	B767-300ER(1機)	A320(2機)
	B767-300F(2機)**	-
ANK	B737-700(4機)***	B737-400(2機)
エアーセントラル*	DHC8-400(3機)	-

*現中日本エアラインサービスが2005年2月17日より社名を変更。

**B767貨物専用機の第2号機、3号機として導入。

***新規導入

以上